



TOHOKU

EPO通信

[エポ]



東北環境パートナーシップオフィス



秋田県三種町で実施された Green Gift 地球元気プログラム「沼の宝石じゅんさい摘み取り体験」

CONTENTS

- お知らせ
東北地方 ESD 活動支援センターの開設について
- ECO & 復興支援グッズ
- 東北6県 EPO トピックス

東北環境パートナーシップオフィス(EPO東北)とは

東北環境パートナーシップオフィス(略称:EPO東北)は、東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的としています。さまざまな分野の人や組織が垣根を越えて協働できるよう、地域の環境情報の発信と交流機会の提供を行い、活動の広がりや新たな取組創出のきっかけ作りを担います。たくさんの方がEPO東北をきっかけに出会い、新たな環境活動の環が広がるよう、皆さまのパートナーシップ作りを支援します。

東北地方 ESD 活動支援センター の開設について



東北地方
ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

東北地域でESDを推進するためのネットワーク形成とハブ機能を担う拠点として、「東北地方ESD活動支援センター」を2017年7月3日に開設しましたのでお知らせいたします。

■開設の背景

2014年11月に岡山・名古屋で開催された「国連ESDに関するユネスコ世界会議」において、「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」の開始や「あいち・なごや宣言」が採択され、活動支援や経験共有のために、行政、市民団体、民間企業などの多様なステークホルダーが参加するプラットフォームの構築が提案されました。これらを踏まえて策定された「我が国における『ESDに関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」（2015年）においてもESDの推進体制の確立・強化に向けたさまざまな方針が盛り込まれています。

これらに基づき、環境省と文部科学省は、ESDを推進するための全国的なハブになるべき拠点として「ESD活動支援センター（全国センター）」を2016年4月、東京に開設しました。この全国センターとともに、全国8ブロックで各地域のネットワーク形成とハブ機能を担う拠点として、「地方ESD活動支援センター（地方センター）」が2017年7月以降順次開設されています。

■「ESD活動支援センター」とは

ESDに関するユネスコ世界会議の成果と「ESDの10年」で広がったESD実践者の提案をふまえ、環境省と文部科学省が民間団体との連携事業として開設した、官民協働のプラットフォームです。

■「東北地方ESD活動支援センター」とは

東北地域でESDを推進するために、ESD活動に取り組む皆さまとのネットワークを広げながら、ESDに関わる多様な主体の協働や連携の支援に取り組みます。

<主な機能>

1. ESD活動を支援する情報の共有

ESD情報の収集・発信、交流機会の提供、相談対応

2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援

地域ESD拠点の形成支援、活動支援

地域ESD拠点との連携による普及・啓発

3. ESD活動のネットワーク形成

多様な主体の地域ネットワークの形成、相互連携事業や交流事業の実施

4. 人材育成機能、等

<<連絡先>>

TEL 022-393-9615

FAX 022-290-7181

E-mail info@tohoku-esdcenter.jp

URL <http://tohoku.esdcenter.jp/>（予定）

※準備中です。9月頃公開予定

東北地方ESD活動支援センター 第1回企画運営委員会を開催／2017.7.3

東北地方ESD活動支援センターの開設日に、第1回企画運営委員会を開催しました。企画運営委員会は、東北地方センターの方向性や、東北地域におけるESDの推進についてご意見を頂戴する会議です。委員は、ESDの推進に取り組んできた自治体の担当者、学識経験者、NPOや専門家から構成されています。第1回は、東北地域において東日本大震災からの復興、そして豊かな自然と、自然に寄り添った暮らしが外せないテーマであり、東北らしい要素であることが確認されました。また意見交換では、地域の課題やニーズを踏まえ、マルチステークホルダーと協働したESDの推進や課題の解決に取り組むこと、地域をどうつないでいくかが鍵になるだろう等の意見が出されました。皆さまのご意見を頂戴しながら、少しずつ東北地方センターとしての機能の充実化を図って参りたいと思います。

【第1回 企画運営委員会】

日時：2017年7月3日（月）14：00～16：00

会場：仙台第2合同庁舎2F 共用会議室

参加：26名（委員11名、コーディネーター1名、東北地方環境事務所5名、EPO東北4名、オブザーバー5名）

主催：東北地方ESD活動支援センター



『全国センター』と『地方センター』

・ESD活動支援センター〈全国センター〉

特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議（ESD-J）と公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）が共同で運営しています。

所在地 東京都渋谷区神宮前5丁目53-67 コスモス青山 B1階

・地方ESD活動支援センター

ブロックごと・全国8カ所に、順次開設されます。運営は地方EPOが担います。

<北海道>北海道地方ESD活動支援センター

北海道

<近畿>近畿地方ESD活動支援センター

滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

<東北>東北地方ESD活動支援センター

青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

<中国>中国地方ESD活動支援センター

鳥取、島根、岡山、広島、山口

<関東>関東地方ESD活動支援センター

茨木、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、静岡

<四国>四国地方ESD活動支援センター

徳島、香川、愛媛、高知

<中部>中部地方ESD活動支援センター

富山、石川、福井、長野、岐阜、愛知、三重

<九州>九州地方ESD活動支援センター

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

ECO&復興支援グッズ

環境再生活動の支援につながる、または復興支援につながるエコグッズ（マイバッグなど）

01. 手づくりアロマ石けん3個セット

三陸石鹸工房KURIYAでは海藻やハチミツなど食材としても使われる地元素材と天然のアロマ（精油）を配合した手づくり石けんを製造・販売しています。チョコレートのようなカワイイ石けんはお土産やプレゼントにぴったり。お部屋に置いてルームフレグランスなどにお使いいただけます。3個セットのほかに6個セット、9個セットも販売中です。JR女川駅前にある工房兼店舗では石けん手作りワークショップも開催しております。

■問い合わせ先/株式会社アイローカル

宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原1番地34
シーパルピア女川ハマテラスー8

TEL：0225-25-7191

FAX：0225-25-7192

Email：sekken@i-local.co

<https://i-local.jp/>



■価格 各 1,300円（税込）
※現在は雑貨としての販売

02. 福おちょこ

岩手県産の北限山桜で高樹齢の木地で仕上げられています。山桜は国の花に指定されている唯一の木材です。古歌にもあるように、古くから日本の花が山桜でした。馬蹄鉄は西洋の国々では、悪運を避け幸運を呼び込むお守りとして使用されてきました。蹄鉄の開いている部分を上から幸運が溜まると言われています。南部鉄器製の馬蹄鉄をマグネットで取り外し出来るように取り付けました。

■問い合わせ先/株式会社バンザイ・ファクトリー

岩手県陸前高田市米崎町字道の上 69

TEL：0192-47-4123

FAX：0192-47-4128

Email：senju@sagar.jp

www.sagar.jp



■価格 4,320円（税込）

03. あじさいピンブローチ

繭を紡ぐようにゆっくり時間をかけ、想いを紡ぐ。天然の良質な国産繭を素材に選定・染色・製作まで全ての工程を手作業で行い、花びら一枚一枚から手作りしている大人気のあじさいピンブローチです。店頭に出すや否やすぐに売り切れてしまうYES工房を代表する人気商品です。近年僅かとなった伝統ある養蚕の歴史を、繭細工を通して今に伝えています。天然の繭のぬくもりを手にとって感じてみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ先/YES工房

宮城県本吉郡南三陸町入谷字中の町227

TEL：0226-46-5153

FAX：0226-46-5157

Email：ms-tako@ms-octopus.jp

<http://ms-octopus.jp/cocoon/>



■価格 1,200円（税込）

青森

AOMORI

ふるさとで「そだつ」ふるさとを「まなぶ」ふるさとを「しらべる」

都市と里山、人と自然、先祖様から次世代へ。

津軽地方には、多様で豊かな自然環境が広がっています。さらにそこには、縄文時代から続く狩猟や採取の文化が今でも色濃く残り、絶えることなく地域の食文化や風習に見ることができます。私たち「つがる野自然学校」は、この豊かな自然と人の暮らしに注目し、現在注目されている「持続可能な暮らし」や「自然との共生」、「地域の再生」をキーワードに、白神山地や岩木川での「自然環境調査」や、地域の小学生を対象とした「自然体験活動」、地域の環境について考える「環境学習」などを行い、個人から地域へ活動できる人材の育成を目的としています。



■ふるさとで「そだつ」～森カフェ～

大自然の中で、「農業作業」などの協働活動や「焚き火」などの個人活動など普段と違った一日の過ごし方を提案しています。参加者が、主体的に活動に参加し、楽しみとして捉えています。



■ふるさとを「まなぶ」

～西日屋小学校総合学習～

前述の通り、自然と共生した暮らしが今なお残っています。これは自然への畏敬の念と、資源の持続可能な利用の知恵によるものでした。そこで地域や次世



代を担う子どもたちにこの精神と知恵を伝える活動を行っています。



■ふるさとを「しらべる」

～白神山地及び津軽地方自然環境調査～

津軽地方には多様かつ貴重な自然環境が、人が見守り、関わりながら守られてきました。先人から受け継いだ自然を損なうことなく次世代に託すために、些細な変化を捉えるモニタリング調査を行っています。



特定非営利活動法人つがる野自然学校
http://esdtanigu2014.wixsite.com/iwakisanns2015

〒036-8092 青森県弘前市城東北4丁目3-10 チャーリーハウスB-1

TEL : 080-5260-2809 Email : esdtanigu2014@gmail.com

岩手

IWATE

キーワードは、「自然と遊ぼう。自然に学ぼう。」

楽しく安全に自然の中で過ごせるように、色々な自然体験イベント開催中！指導者向けのセミナーや、登山・カヌー・クラフトなどの活動指導も行います。

自然遊びクラブは、環境に配慮した、楽しく安全な自然体験活動の普及と、そのための指導者を養成することを目的に、平成18年から活動しています。

「自然と遊ぼう。自然に学ぼう。」をキーワードに、大人から子どもまで、たくさんの方々が楽しく安全に自然の中で過ごせるように、様々な自然体験活動を企画・実施しています。



これまでに、「コドモとオトナの自然遊びクラブ」「ウィンター・チャレンジ☆キャンプ」「秋の自然と遊ぼう」「冬の自然と遊ぼう」「親子de自然遊び」など、日帰りの活動を中心に、子ども向けや親子を対象とした四季折々の様々な自然体験イベントを開催してきました。

また、アメリカで生まれた体験型の環境教育プログラムである「プロジェクト・ワイルド」や「プロジェクトWET(ウエット)」の指導者養成講座も開催し、好評を得ています。(今年は、プロジェクトWETの指導者養成講習会を開催予定です。)



最近のイベントでは、定員以上の参加申し込みをいただく一方で、指導者の確保に頭を悩ませることが増えています。この状況を改善すべく、指導者向けの講座を充実させて、指導者の確保につなげようとしています。

各種講習会やイベントに関する情報は、自然遊びクラブのFaceBookページをご覧ください。



自然遊びクラブ

www.facebook.com/shizenasobi.club/

〒025-0097 岩手県花巻市若葉町2-7-22

Email : shizenasobi.club@gmail.com

TEL : 050-3128-7781

宮城 MIYAGI

南三陸・石巻・登米のフィールドミュージアムエリアを「自然史の学び舎」に

2015年3月31日、南三陸金華山国定公園が三陸復興国立公園に編入されました。これに伴い、環境省にて、2016年11月、南三陸町戸倉に南三陸・海のビジターセンターが開設され、2018年の4月には石巻北上に石巻・川のビジターセンターが開設の予定です。この2つの施設を拠点として、翁倉山を中心とした一帯をフィールドミュージアム、すなわち土地の歴史・風土・文化そのものを博物館とするエリアとして捉え、この地の持つ自然を中心としたさまざまな価値を活かすとともに、保全を図っていく活動をすすめています。

ビジター



センターは、フィールドミュージアムへの入り口という位置づけで、これからミュージアムで楽しみ、学びを高めるための基本的な情報を発信する役割を担うとともに、ミュージアム内で活動する道具などを用意しています。野外活動の初心者でも取り組みやすくするための、ガイドンスやプログラムの実施もおこなっています。

自然史とは、自然に存在するものについて研究する学問のことです。この地域は、昔から自然と対話し続けながら豊かな生活が作られてき



ていて、自然史の場があると言えます。こういう本質的な豊かさを創作していきることそのものが地域の価値だと考え、学び舎と表現することで、それが続いていくことを求めています。

この取り組みで、地域の方々をはじめとするより多くの方が自然・歴史・風土・文化に親しみをもち、学び、それが新しい価値に変わっていく、その仕組みが形成されればと願っています。



フィールドミュージアム運営協議会
(事務局：特定非営利活動法人 海の自然史研究所)

■〒986-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉字坂本21-1

■TEL：0226-25-7622 ■Email：center@kawatouminovisitorcenter.jp

秋田 AKITA

ふるさとの自然環境を復元し、豊かな生態系の再生を！

「地域の、きれいな空気と水、かけがいのない動植物などを守り、次世代に伝える」ため、市民とともに歩んで30年。

大館自然の会は1988年4月発足の市民団体です。自然環境保全のため、啓発活動、調査活動、実践活動を多数の市民参加によって推進しています。実践活動の柱であるブナ植林とトンボ公園づくりを紹介します。

■長木川流域にブナを植える市民の集い

天然秋田杉を筏にして流した昔のような豊かな水量を回復させ、川の本来的な機能を取り戻すため、1995年から植樹



児童クラブ自然体験

と育樹を始めました。地元の森林管理署と協定を結び、国有林内で「テロロの森」づくりを推進しています。テロロとは水源地帯のブナ林に生息するアカショウビンの地方の呼び名です。これまでの植栽数は6,450本で、中心樹種のブナは樹高が6m、胸高直径17cmの林になっています。川や森の観察、森の工作なども実施しています。新緑や紅葉が美しく映え、クマゲラやカモシカも姿をみせることもあります。

■「市民の森」でのトンボ公園づくり

環境の自然度をあらかずトンボの減少を危惧し、1995年に大館市所有の「市民の森」内4haを借り、16面のトンボ池とオニヤンマの沢を市民と協働で創設しました。学習板や観察木道整備等進め、今では市民がいつでも自由に訪れる

散策地になっています。「夏休み親子トンボ教室」「市児童クラブ自然体験交流会」など環境学習の場として活用しています。トンボは造成時には23種でしたが、現在は44種の生息を確認しています。クロメダカやコオイムシ、アカハライモリも子どもに人気です。また、草本と木本植物は約300種が生育し、草花がお目当ての市民も多いです。



森の工作

大館自然の会

<http://odateshizen.wixsite.com/green>

■〒017-0863 秋田県大館市根下戸町

■TEL・FAX：0186-42-2584 ■Email：jxfgp141@ybb.ne.jp

山形

YAMAGATA

地域の資源で、子どもの心を育む。

山形の恵まれた資源と、ものづくりの技術で子ども達へ「自然の魅力を感じれるおもちゃを創る」

■事業のきっかけ

もくロックは2011年、山形県の置賜地方米沢市にて誕生しました。

広葉樹が森林の7割を超える、自然に恵まれた地域の木材をつかって、子ども達へ「自然の魅力を感じれるおもちゃを創る」というアイデアから始まった“もくロック”は、地域の産業資源であるモノづくりの技術と、想いによって生まれました。



■産業資源の活用

米沢市は工業製造品出荷額でも東北有数の規模を誇り、事業活動の中で技術や品質管理のノウハウを蓄積してきまし

た。モノづくりのプロである私達は、品質にも拘りを持ち、「仕上げの美しさや、組合せたときの感覚」なども大切にしています。この品質に対する私達の心は、商品、素材、モノづくりの現場など、全てにおいて反映されています。



■世界が目にするブランドへ

2015年1月に開催された、世界最高峰のデザイン商品見本市メゾン・エ・オブジェ(パリ)において、出



展社3000社中9社が受賞した“グリーン・アイテナリー賞”を頂きました。

展示会への出展を足がかりに、今ではヨーロッパやアメリカなど世界約30ヶ国に、もくロックを届けています。

■子ども達への想い

私達は「子ども達の心を育む」という考えも大切にしています。

子ども達の一番の学びの場となる“遊び”を通じて自然と触れ合うことで、“小さなことに心をよせる”ことを学び、感じる心を育む、そんな想いを込めて作っています。



株式会社ニューテックシンセイ

<http://mokulock.com/>

〒992-0021 山形県米沢市大字花沢3075-1 ■TEL : 0238-21-3155

■FAX : 0238-21-3171 ■Email : info@mokulock.com

福島

FUKUSHIMA

福島県地球温暖化防止活動推進センターの運営を始めました

Think Globally、Act Locally—地球規模で考え、足元から行動しよう

特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク(UNN)は、福島県全域で活動する中間支援組織です。これまでも、福島県環境・エネルギーNPO連絡協議会を主宰するなど環境問題、エネルギー問題に取り組んできました。

4月から一歩進め、福島県の指定を受け「福島県地球温暖化防止活動推進センター」の運営を始めました。(http://fukushima-ondankaboushi.org/)

南限と北限が交わる植生、親潮と黒潮がぶつかる潮目の海、福島の豊かな自然環境を地球温暖化を防止することで守っていく活動です。

「3.11」(東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故)で甚大な被害をこうむった福島ですが、環境省、福島県、環境系NPO法人、そして県内に

70人いるうつくしま地球温暖化防止活動推進員と連携し、地球温暖化防止活動を行っています。

具体的には、福島県と連携・共催し、地球にやさしい“ふくしま”県民会議(事務局：福島県環境共生課)や福島議定書(事業所版、学校版)事業、復興ふくしまエコ大作戦! みんなでエコチャレンジ事業を行っています。

その上で、地球温暖化防止活動をさらに進めるには、ライフスタイルや社会システムを変えていく必要があります。一人ひとりの意識改革が大事です。国民運動「COOL CHOICE(賢い選択)」の普及にも取り組んでいます。

事業所には、グリーン経営やグリーンファンドの提案も行っています。

大切なのは、「Think Globally、Act

Locally—地球規模で考え、足元から行動しよう」ということです。



うつくしま地球温暖化防止活動推進員の活動をサポートしています

特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク

<http://www.utsukushima-npo.jp/>

〒963-8835福島県郡山市小原田2-19-19 ■TEL : 024-953-6092

■FAX : 024-953-6093 ■Email : uketsuke@utsukushima-npo.jp

● Web-Siteのご案内

- ◆ お役立ち情報：環境助成金情報、エコの目録
- ◆ 随時更新：お知らせ、活動報告、日記

お知らせページでは、環境省や東北6県のイベント・募集情報を告知しています。スタッフによるつれづれ日記、被災地や出張先のレポートが人気です！

● EPO東北オフィス利用案内

◆ 各種パンフレットやイベントチラシの設置

環境イベントや助成金等の募集チラシ、環境にまつわるパンフレットを設置しております。自由に閲覧いただけますのでお気軽にお立ち寄りください。また、チラシ等設置をご希望の方は持参または郵送でお寄せください。

◆ ミーティングルームのご案内

環境活動、震災復興支援活動のミーティングや小規模セミナーにご利用いただけます。ご希望の方は電話・メール等で事務局までご相談ください。

- 開館：月～金（祝日を除く）
- 利用時間：10:00～18:00
- 利用人数：12名まで

● EPO東北のパートナーシップ団体

EPO東北は各県で環境活動を進める団体の協力を得て運営しています。

青森県環境パートナーシップセンター	http://www.eco-aomori.jp/
ECO リパブリック白神	http://shirakamifund.jp/
環境パートナーシップいわて	http://www.iwate-eco.jp/
環境あきた県民フォーラム	http://www.eco-akita.org/index.html
あきた地球環境会議	http://www.cееakita.org/
環境ネットやまがた	http://eny.jp/
うつくしまNPOネットワーク	http://www.utsukushima-npo.jp/
せんだい・みやぎNPOセンター	http://www.minmin.org/
環境会議所東北	http://kk-tohoku.or.jp/
仙台広域圏ESD・RCE	http://rce.miyakyo-u.ac.jp/
環境パートナーシップ会議	http://www.epc.or.jp/

メールマガジン登録者募集中！

発行頻度：第2週と第4週毎月2回

登録料：無料

内容：助成金・イベント情報、EPO東北の活動情報など環境にまつわるお知らせ

登録方法：EPO東北のウェブサイトより



環境イベントの告知を行います！

催事情報をEPO東北のウェブサイト、メールマガジンなどでご紹介させていただきます。また、チラシを持参または郵送いただいた場合は、オフィス内に設置いたします。環境イベントを企画している皆さま、ぜひ事務局まで情報をお寄せください。

EPO東北は東北地方環境事務所（環境省）と公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。



EPO TOHOKU

東北環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office TOHOKU

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎1F

TEL 022-290-7179 FAX 022-290-7181

E-mail: info@epo-tohoku.jp URL: http://www.epo-tohoku.jp/

勤務時間：月曜～金曜日【9:30～18:00】

閉館日：土日祝日・お盆・年末年始

発行日：2017年8月



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。